





# よってこって華彩・青年部パワー炸裂!



「よってこって」華彩・青年部パワー炸裂!  
 平成9年度日本プロロック大会の開催地として、  
 よってこって(中国)が、そして関西の開催地として、  
 YEGの方針を受け、各都道府県個人へという熱い  
 言葉をかけています。

## 近畿ブロック 加西大会

「よってこって」華彩・青年部パワー炸裂!  
 平成9年度日本プロロック大会の開催地として、  
 よってこって(中国)が、そして関西の開催地として、  
 YEGの方針を受け、各都道府県個人へという熱い  
 言葉をかけています。

# バンザイ!岡山で会えてよかった!



今年度、第15回中国プロロック大会は岡山県に於  
 て10月10日、18日(土)に開催されます。今年岡山で  
 は、古きながら岡山県城野町のたいへんとを  
 開催しています。また岡山自動車道開通に伴い、  
 中国四国自動車道中四国インターチェンジの全通、  
 若狭がより公認のインターチェンジなどにより岡  
 山は、今大きく動いています。このような中で、  
 今大会は、にぎわいと喜びの中で、先陣交代を飾り  
 ながら企業と地域社会が共に取り組む人としての  
 自覚、工業立地推進の役割を担う者としての自覚  
 をもた、大いに楽しんでいただける大会を目指して  
 います。

## 中国プロロック岡山大会

「よってこって」華彩・青年部パワー炸裂!  
 平成9年度日本プロロック大会の開催地として、  
 よってこって(中国)が、そして関西の開催地として、  
 YEGの方針を受け、各都道府県個人へという熱い  
 言葉をかけています。

# 来て・見て・感じて久居の湯と街



全国のYEGの皆様さんこんにちは。今秋、10  
 月3日(日)に東海プロロック大会の開催地として、  
 よってこって(中国)が、そして関西の開催地として、  
 YEGの方針を受け、各都道府県個人へという熱い  
 言葉をかけています。

## 東海ブロック久居大会

「よってこって」華彩・青年部パワー炸裂!  
 平成9年度日本プロロック大会の開催地として、  
 よってこって(中国)が、そして関西の開催地として、  
 YEGの方針を受け、各都道府県個人へという熱い  
 言葉をかけています。

# 「独立自尊」自由奔放、福沢精神今ここに



全日本YEGメンバーの集結の地は、  
 大分県中津市YEGは、またまた10月10日、第  
 15回中国プロロック大会の開催地として、  
 よってこって(中国)が、そして関西の開催地として、  
 YEGの方針を受け、各都道府県個人へという熱い  
 言葉をかけています。

## 九州ブロック中津大会

「よってこって」華彩・青年部パワー炸裂!  
 平成9年度日本プロロック大会の開催地として、  
 よってこって(中国)が、そして関西の開催地として、  
 YEGの方針を受け、各都道府県個人へという熱い  
 言葉をかけています。

# YEGカーニバル紙ing伊予三島!



## 四国ブロック伊予三島大会

「よってこって」華彩・青年部パワー炸裂!  
 平成9年度日本プロロック大会の開催地として、  
 よってこって(中国)が、そして関西の開催地として、  
 YEGの方針を受け、各都道府県個人へという熱い  
 言葉をかけています。

# 来てみたい！阿波の国'97徳島発 今始まる 世界連携新時代

●実行委員長

●実行委員

●実行委員

●実行委員

●大会会長

●大会副会長

●大会副会長

●大会副会長



## スタッフの熱き思い!!

●山田 重隆  
変革時代の情報社会の中で、自然に生まれたのんきな阿波で、ホッとする楽しさを、ヒューマン・ネットワークを築いて欲しい。

●野田 寛  
夜の仕事(兼内)に頑張ります。

●今山 秀人  
全国の皆様との交流を楽しみにしています。

## スタッフの熱き思い!!

●高野賢太郎  
徳島及び阿波の地が皆様方の熱い思いに燃えるような大会を目指します。

●神崎 清明  
全国のみなさんに徳島を位置づける大会にしたい。

●中谷 経行  
武山の人と出会い、話がでるのを楽しみにしています。

## 徳島大会開催要綱

コース名・時間	主催者・日時	みどころ
朝日コース	徳島県ゴルフ協会 8:00-15:00	朝日ゴルフコンペ
ゴルフコース	徳島県ゴルフ協会 18:00-20:00	前泊前夜ゴルフコンペ
夜間コース	阿波フェスティバル 14:00-16:00	阿波フェスティバル
エクスカージョン	日:00-	徳島県民文化センター

### 平成10年度全国大会「青森大会」に向けて

「思いとビジョン」後藤 薫

私たちが青森県工芸協会青年部の取り組みは、ウオーターフロントエリアにおけるイベント「青森の祭り」の創出、全市の文化をみせる「飯沼の祭り」の創出、市民の文化をみせる「三内山崎の祭り」の創出、地域の活性化を促すべく建設された「三内山崎の祭り」の創出、地域の活性化を促すべく建設された「三内山崎の祭り」の創出...

### 平成10年度全国大会「青森大会」に向けて

「思いとビジョン」後藤 薫

私たちが青森県工芸協会青年部の取り組みは、ウオーターフロントエリアにおけるイベント「青森の祭り」の創出、全市の文化をみせる「飯沼の祭り」の創出、市民の文化をみせる「三内山崎の祭り」の創出、地域の活性化を促すべく建設された「三内山崎の祭り」の創出...



# 直接話そう! 直接交流しよう! 姉妹提携



平成2年3月に行った浜田・黒部YEGの姉妹結成は、この「誕生」がご縁でした。当時、浜田YEGでは、夏のイベントとして、大規模な野外コンサートを毎年開催しておりました。(前回は1年度より8回開催、現在は休止中。)

そんな折、同じ日本海側の同規模の都市で、やはり1万人規模の野外コンサートを定期的に開催しておられる黒部YEGの事を、「誕生」の活動報告で拝見し、お話ししたのが始まりです。折り返し、是亦とも姉妹結成をこの誌を黒部サイドより頂き、また当時の黒部YEG副会長の奥様が、山陰のご出身ということもあり、さっそく川越会長に浜田までお越し頂き、年度内には黒部市において姉妹調印式に参りました。その後は互いの市へ一度ずつ訪問を行いました。道路という事もあり、今では全国大会の折にお会いし、情報交換を行うのが現状です。

共同の事業等は行っておりませんが、立地も含め、同様の気候にある青年部として、自らの友人の様に、その存在だけで互いの励みとなる姉妹青年部関係として、今後とも、肩の掛らないお付き合いを続けていきたいと思っております。

また、現在浜田市では、平成4年の中国横断道開通、平成5年の県立短期大学開学、平成8年の世界こども美術館の開館、4年制大学の設置、浜田港5万t埠頭等と日々まをしくハードの整備が進められております。青年部としてはこれらのハードを最大限に活かすべく、地域のソフト集団たる自覚をもって活動を展開しております。

平成11年には、中国ブロック大会選抜にも名乗りを上げております。変わりつつある浜田市に新青連の情懷、是非一度きてみんちゃい。



①姉妹提携時期  
1994年12月21日(平成6年)

②いきさつと目的  
黒部YEGは、平成6年度に設立30周年記念事業の一環として姉妹提携事業を行うことになりました。姉妹提携YEGとして関東首善選で選出された、異同情緒をもつ黒部YEGに打診したところ快く受けていただきました。両YEGでは人と情報の交流を行うことで両地域の更なる発展を目的として交流を進めていきたいと思います。

③メリット  
YEGだけでなく親商工会議所・婦人会との友好の輪が広がりました。

④姉妹提携の現状  
毎年双方のYEGへ出向いて祭りなどに参加している。

⑤将来展望  
現状を維持しながら、情報交換、YEG勉強会、親々の事業展開などに役立てたい、懇親視察の計画  
希望があれば、能くまに検討します。



我が大田商工会議所青年部は、来年度で創立20周年を迎えようとしております。親本商工会議所青年部に姉妹提携したのが10周年の記念であったことを、今思っておこしております。

昭和35年、10周年を迎えた年に渉外委員会が、「それぞれ対外的に交流を行い、視野を広げていこう」との考えのもとに、姉妹提携の調査事業を開始したのであります。歴史、文化、産業の共通点、また人口の割合はどうかなどを検討した結果、兵庫県洲本市を11月19日に視察しました。互の産業というものが互いの産業の共通点でありまして、その時に須磨瓦の工場などを見せていただきました。

平成元年、私が渉外委員会の理事になりました。前年に引き続き洲本市と交流を進めることとなり、お互いに訪問し親睦を深め、気軽に話をお交す関係になりました。そして8月3日、洲本市の「海月館」にて姉妹提携調印式が挙行され、洲本市市長、親本商工会議所会頭等ご来賓の方々とも親しく話し合うことができ、市長からは洲本市のイベントへの積極的な参加を期待するとの要請がありました。

当時は、お互いのイベントに参加することにより友好の輪を広げ、良いところは吸収していこうということで姉妹関係が始まりました。それから今日に至るまで、友好青年部としてブロック大会、周年事業、地元の祭等への参加を続け、全国大会の時には親善会を断したりしてきております。

縁組みをしてから、この8月で8年がこうとうしています。そろそろ、もう一步踏み込んで、「共に学びあう」期かなと考えているところであります。



スーパーボード

“YEGの姉妹結成”は、まさに、出会いから交流そして連携という、YEG前時代に必要な事業だと考えます。

沖繩YEGと大村YEGが姉妹結成を締結して、15年目に入ろうとしています。当時大村YEGは、第1回九州ブロック運営研究会が開催されることになっており、かねてより交流を深めていた沖繩YEGとの姉妹結成が、大会前に締結調印されました。当時は、全国の9会議所中、青年部は194例会(40%)程にすぎませんでした。そうした意味からもこの姉妹結成は、全国のYEGから注目を浴びていました。この姉妹結成の目的は、友情と連帯を深め、お互いの経済や文化等の交流を図り、両地域の発展に寄与していくことでありました。

今日までを振り返りますと、お互いの地域での物産品を贈り・紹介することを皮切りに、人と人との交流を深めてきました。そういつた中で、沖繩YEGの仲間達との交流を通じ、今問題になっている基地の移転等、沖繩の方々が経験されてきた歴史の苦難が、我が身のように切実に感じられ、この問題がいつい方向で解決していくことを願っております。

平成9年度両市連のスローガンは“直接交流・直接実感”を掲げ、連携を深め、YEG新たな出発”であります。『姉妹結成』における交流は、まさにスローガンそのものではないでしょうか。

私たち大村YEGは、これからも諸先輩の方々が努力を重ねてきたこの姉妹結成を、これからも大事にして行き、且つお互いの友情と連帯を深め、経済、文化等に繁栄させていきたいと考えております。



①提携時期 平成6年12月21日

②いきさつ それは前触れもなくやってきました。ある日一週間の書類が事務局の元へ。そこには「友好姉妹提携」の6文字が。是非商工会議所青年部・個人会と共に黒部と黒部市の友好姉妹提携を、とのことでした。この中には縁がある大村市の青年部との交流を深めたいとの主旨が書かれてあり、これを託された役員は「横須賀が大都市?」と首をかしげましたが、そうこうしているうちに黒部の会長さんたちが横須賀にみえられ、まずはお見合い。横須賀が大都市であるという誤解を解かなければと話をし現状を説明した上でも是非よろしくとのことでしたので、こちらからも歓迎の意思を伝えました。

その後行われた黒部商工会議所青年部・個人会の20周年記念式典に早速招待を受け、出



日友好姉妹提携調印式も執り行い、めでたくブーイングではなくスタートしたのであります。黒部の皆さんはこちらが恐縮するくらいのおもてなしで歓迎してくれました。これからも未だおつき合いでお互いの情報交換・また親交を深めていければと思います。

③メリット 情報交換や文化交流といった面において、今後の青年部の発展に寄与する活動であると考えます。

④現状 年1回の親睦会開催等、必要に応じて積極的に取り組んでおります。

⑤将来展望 21世紀に向けて、黒部市との連携を高め、両方ににぎわいのある青年部の基盤作りを目指します。

- ### ♥姉妹YEG
- 高岡(富山) —— 関(岐阜)
  - 氷見(富山) —— 大町(長野)
  - 魚津(富山) —— 横須賀(神奈川)
  - 黒部(富山) —— 浜田(鳥根)
  - 水戸(茨城) —— 敦賀(福井)
  - 洲本(兵庫) —— 大田(鳥根)
  - 江戸川(東京) —— 鶴岡(山形)
  - 長門(山口) —— 米子(鳥取)
  - 別府(大分) —— 指宿(鹿児島)
  - 大村(長門) —— 沖繩(沖縄)
  - 米沢(山形) —— 高鍋(宮崎)

話術の都合上掲載できなかったYEGは次回に掲載させていただきます。

水戸の銘産や納豆などの特産品を販売した。教育、

その敦賀YEGとの交流が始まったのは平成3年9月16日水戸YEGの創立15周年記念式典でのことでした。敦賀YEGの会長はじめ多くの会員の参加をいただき「青年部活動の活性化、自らの人間性と経営能力の向上、地域社会への貢献等に関して活動のレベルアップを図る」ことを目的に調印式を行ないました。

水戸と敦賀は距離的にかなり離れているにもかかわらず毎年恒例の全国大会において交流を図っており、YEGの事業や組織、地域社会についてお互いに信頼のない意見交換を行なっています。

その一端として、平成4年の敦賀15周年記念大会や、青年の水戸10周年記念大会などの記念事業ではお互い交流を深めています。

また、平成5年に行われた「敦賀まつり」にも参加させて頂き、水戸黄門、おさん、裕さんに扮したメンバーが、



水戸物産コーナー



姉妹提携調印式

